

恕菴本艸記聞  
利

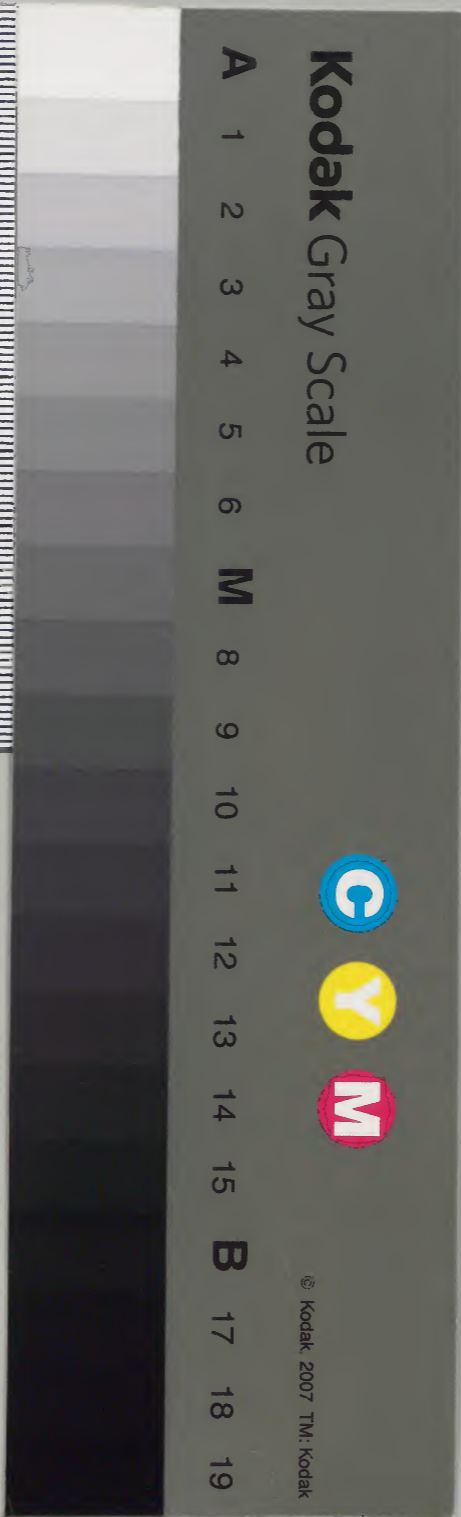
省務商書  
圖  
號  
門  
共  
六  
冊  
上  
下

庫文官政太  
八  
二  
三  
書  
門  
架函號類

庫文門內  
和  
八二三  
四冊  
七架  
一  
九  
六  
函  
三

內閣文庫	
番號	和 8238
冊數	4 ( 3 )
函號	196 37

林



菜 果 木 服  
器

之部

本草綱目記聞

三

本州綱目記聞卷之三目錄

明治十三年購求



菜之一 葷辛類 十八種

果之一 五果類 十一種

果之二 山果類 三十四種

果之三 夷果類 三十一種

果之四 味果類 十三種

果之五 楸果類 九種

果之六 水菓類 六種

木之一 香木類 五十五種

木之二 喬木類 五十二種

木之二 灌木類 五十五種

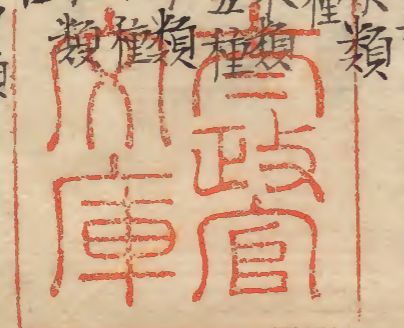
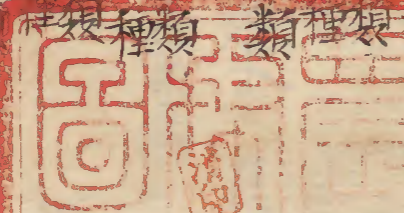
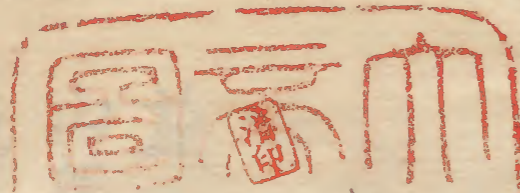
木之四 寓木類 十三種

木之三 苞木類 四種

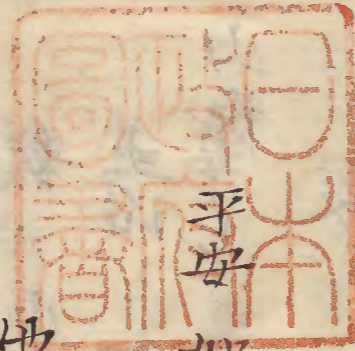
木之六 雜木類 七種

木之五 服帛類 二十五種

服器之二 器物類 五十四種



本草綱目記聞卷之三



平安 楚菴松岡玄達考訂 門人

甲賀敬元

熊谷玄隨 同校

江村如圭

堀元厚

菜之部一 葷菜類

他説 稻菘 貝原篤信

菹 ニラ フタモシ

菘

刮刺酒 ナタキ

山菹 ヤマニラ

凡野生者有山之名 不止山生而已也

孝文菹

甲氏云野生菹之

葱

ヒトモシ 子キ 俗名子アカ

集

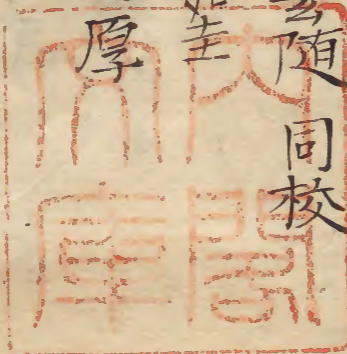
凍葱 冬子キ

漢葱

隻子キ

樓葱

ヤクラサキ ヒトモシ



金燈 キツ子ノカミツリ 郡山慈姑ナリ

朶 キツ子ノチク

茗葱 ゲウジヤニシク セミウニシク

胡葱 アサツキ

薤 ラツキヤウ 花屋

花肆 ニテタムラサキト云

薄婦 即姓 婦也

附 蓼蕎 未詳

蒜 大ヒル

家産者佳也 宅蒜對野蒜 ニ

軟 小蒜 ヒル

慈葱 子ツカ 興渠 アキ

主治 狸獠 音脚 郭璞曰今 江東呼獠為獠

山蒜 ヒル

葫 ニシク 僧ノ隱名

五辛菜

五種之辛味也 詳医經名類 教

莖薑 クキタチ

俗名榻科菜時珍以油菜為莖薑

非也凡トウ立者ヲ云莖謂葉形菜トウ立者ヲ云也

菘 ハタチナノ總名ナリ

油菜白菜一物時珍為二物

集 蓬 扇之類ナリ

紫菘 江及ヒノナ 京都近江ナ

水菜 ミツナ

三才圖會野菜博録云 水春莖又名水青菜

箭幹菜 ケシキナ 出常熟志

四月莖 或云隻菘菜

苡 カラシ

王世懋瓜蔬云苡多種以春不老ヲハバ也為

第一

苣 私景説 トウカラシ

大苡 ヨハバカラシ

紫苡 ウラサキカラシ

皺葉苡 ヨハハカラシ 春不老

苡藍 筑前方言ニカウ ハカラシナ

白苡 シロカラシ

白苡子 苡菜用 關東及信州之産味極

熟下考 有懸字

辛也 集 葉花而有之 葉ノキレコト多ク云

蕪菁 カブラナ 月令廣義曰蔓菁名四時菜春食苗

夏食葉秋食莖冬食根医学六要大頭菜乃是也

集 雞毛菜 ツマミナ 閉雍菜 リキツケ

萊菔 大コシコ、ロウト

集 仙人骨 凡有三種一種乾蘿蔔一種天蓋

集 至五六斤 是尾辨ノマヤシゲ大ニルイ

大菜根

水蘿蔔 ミソレク

楊花蘿蔔 三月大コシ出 常熟懸志

沙蘿蔔 江戸ニテ云ハ知ノ大コシ一名蔓菁蘿 出全幼及北征録即是ナリ

紅蘿蔔 赤大根 證治準繩目門曰

生薑 シマウガ 俗名 和名 甲氏云 近来自長崎一種薑出其形如佛掌

薯ヲセウガト云是又一種生姜ノ屬也

集 紫姜 ハシカミ 母姜 宿根也

乾姜 附録 天竺乾姜 未詳

茺蒿 シニキリ 和名 氣味薄 ツマゲレナイ コウライキク

果之部一 集 麥李 モリスモ 櫻桃 ユスラ

李 スモ 集 蜀水花 鷓鴣 屎也 附録 徐李 未詳

杏 カラモ、アンス唐杏 杏 カラモ、アンス唐杏 誤ナリ寿星桃 カラモ 也

集 千葉杏 京師寺町通章魚茶師ニ有此物最香気アリ

集 千葉杏 京師寺町通章魚茶師ニ有此物最香気アリ

木杏 下品

金剛拳 サハシ

金杏 同上

梅杏 メキアニス

巴日杏 アメシトウ 此物自西土来本邦アメシトウト云ハ

是ニアラス寿星桃ナリ

梅 ムメ 行厨集曰梅子曰雪華詩氷盤未蒔會酸 薄

子又曰梅百花桃魁調 謂 于雲中疑結精華也

集 江梅 野生ノヒトムメ

消梅 ムメノムメ

綠萼梅 ヘタノアキキクニ 近來伏見出マ

重葉梅 ムメムメ

醒夢梅 青紅色 雜モノヨク

鴛鴦梅 ガコシ花ヲ兼咲モノナリ

品字梅 花ノ三ツハラツクモノヨク 是モサロトモ云

照水梅 ハナカミ 後水尾院 甚愛之

烏梅 フスヘムメ 充菜用

白梅 ムメホシノ白ナリ 臘白梅花ノ

皮ヲ剥カストノ上ニ 掛置黒丸モノヨク用

榭梅 ニレムメ ニレニツギタル ムメナリ

臘梅 ナシキニムメ カニキキノムメナリ

桃 モ 集 宗奭所謂者ニカマヘケモ、佐州俗云ケモ、

ハ与此別ニシテ 即桃ナリ一名ハクトウト云

油桃 スハイ 一名道州桃佐州ノ俗呼テ

餅子桃 モチモ 緋桃 和名系ニテヒトウト云

碧桃 シロモノ 細桃 薩州有此 物和各未詳 白桃 シロモノ 御桃 方桃

鳥桃 未詳 金桃 開黄花桃

銀桃 開白花桃 五月早桃 サマ

二色桃 俗ニ源平桃ト云一名  
昇桃或云三喬桃 綿桃 モ、ノ中ヨリ糸ヲ出ス  
一名乘糸桃

附方 桃梟 一名桃妊  
奴

栗 クリ 集 芋栗 モ、ニシカリト堂上ニテ云  
シハクリ

板栗 タニクリ 大第栗 シハクリ

山東 シハクリ 栗蕪 クリノシラカ

毛毬 クリノイカ 作條 ヨリノコトク

指項 モ、ノハラ 栗揆 クリノシヤクシ

天師栗 未詳

棗 ナツメ 本邦俗朝鮮枣ト呼形大ニシテ上品ナリ菜

用最佳ナリ轆轤枣ト呼モノ形小ニシテカメバサクイテアシ、

大枣 ナツメ木シタルモノ 羊矢枣 テウセシナツメ

仲思枣 未詳 苦 苦 未詳

果之部ニ 山果類三十四種

梨 ナシ 集 鶯梨 ヲ、ナシ

消梨 ミツナシ 雪梨 コカナシ

紫花梨 在大坂 牛面梨 出記録彙編本邦越後  
新海有馬頭是即此物也

和名片九重ト云本書  
ノ重半斤ト云ニアタルカ

鹿梨 コカナシ コレハシヤキノトシテ  
食用ニラス形小ナルモノ

集 檉 エカナシ 時珍說樹救荒本草詳尔雅  
文陸疏以白棠為甘棠誤

棠梨 カタナシ カルナシ エカナシ  
キナシ ヤナシ



海紅 ヒホケ

海棠ノ惣名也

集貼幹海棠

クサホケ

華系海棠

サクラ

黄花海棠

疑此キサクラアキ

木瓜 ホケ

松岡云花赤白有二種本邦榎櫨ヲクハリント

元ハ誤ナリ木ホケト云モノ也故一家言中木瓜榎櫨ウケコミニ

集花木瓜

戯ニ木ニ元ノ時以紙剪紋是ヲハリツケテ四五日過レハ紋跡赤ナリ映日如黄而甚美也

檀子 小ホケ

俗名クハリニ是ハ華梨ト云モノ也クハリト云ハ俗言也

餘話

細川家有呼檀榎菓子是榎櫨蜜生薑三種カ如膏

一本有榎櫨下

木瓜須知云和名カラホケ俗名クワリニ形有大小長短

皆可通用本草誤會詩經木拂木李木瓜而引入木

瓜條分之又分出榎櫨甚鑿附會其詳明顧益々隣

詩經約ニ詳也榎櫨与木瓜一物也スサホケアリ是又木

瓜ノ一種ニテ本草ニ謂ル豆海棠也

榎櫨

カラホケ和名クワリ

山查子ノ大元モノ也三弦ノドウニスルクハリニハ別

ナリ唐木ナリ和無之

世上十字一本有檀子下

集

湿香

タキモノ

榎樟

マルメロ

和ニアリ梨ノ小元者也梨トリニコトノアイノモノ也

花葉リニニ似タリ

集沙苑

天子ノ牧馬ノ処

山檀

サニサレサレナリ

救荒本草云一名映紅苞

菴羅果 未詳

番語アンモウソウ山城大和アトウノ子ト

云モノ半

奈 ナカリニ  
リンキン ヘリシ

集 頻婆 トウアツキ

林檎 リンゴ

附方

構子

都桶子

柳 カキ。塔柳 カキ 柳蒂 カキノヘタ。軟束 ス、カ。方栴 コ子

八稜材 ハシ 集

榉柳 ヤキカキ

烘柳 ジュクシ

○朱栴 ニタリ

鳥栴 カキ

白栴 即霜栴也

酖栴 サワシ

栴餅 以栴作餅

栴葦

医燈徒焰 ニタリ 栴錢。著先血栴 カキ。牛心栴 カキ

裨栴 キサワシ

叙 時珍所說者汝栴也栴漆 ニダ 也

君遷子 カキ

ス、カ

ブトウカキ

マメカキ

安石榴 サクロ

甘者食用酸者菜用行厨集曰石榴曰珠寶

欬 僵石 殷摩ノ名

集 味甘者名天漿子

凡呼天漿子者有三種其一雀ノ小便タコサ

橋

キノクニミカン

日本記訓香果在古訓タ子八十近世称他知波南

三休詩驢

者非此古歌言ムタ子ハハコノミカチリコウジト云ハ誤也

橋花開机

也凡橋柑之属論於橋録故以不録

菓者即

枇杷也

朱橋 ニミカン

朝鮮ノ名物

青橋 青ナカラ

アマシ

包橋 白ワ

ユウジ

沙橋 カワニ

ニキヒアル云

穿心橋

フクロノトリマワシ凡真中ノニキ允  
ヲ云皮ヲヨクハクタスニナリ

荔枝橘 ミロミカン

陳皮和名ミカン皮和漢上モ入菜用唐又三種アリ其形極大ナル廣東ノ橘皮也和ミ有之近世和ノ陳皮ハマカリモノ多シ大ニ九年母ノ皮不釋入ナリ取去ヘシ蜜柑相子大極氣味功能相通スシ然レモ柑子ハ氣味劣不可用

青皮和名アヲミカンノ皮ミカンノ青時トモノ八九月ニ收ヘシ但某家所賣ノ青皮ハ柑子ノ皮ヲナリ橘皮ハミカンノ皮ヲナリ柑子ハ多シテ不貴ヲ以青時取剥テ青皮トナシテ賣ル青皮ハミカンノ青モノヲ自採ヘシ

方言ニ四花青皮ノ称アリ是別三種アルニ非ス只其皮ヲ製四片トナシ乾シタルモノ也

柑 橘ノ俗名ナリ橘ト出テ柑トアル大ニ混雜柑ハ司馬相如以來ノ文字也大和本抄元年母トアリ能相似タリサレモ一説ニ橘ノ總名ト云未可知

集 海紅柑 又曰香柑 ク子ニホ

橙 非一物之名凡皮厚キ類通メヨク橙ト云假令ハ香

橙臭橙橙ト冠字則一物之名一俗呼臺トス非也

壺橘 木藥 回青橙 ク子ニホ一名椰子 集 香橙

橘 一名紅海柑 一名蜜羅柑 大朱欒 シヤボシ

柚 俗名橙 柚古名出高貢橙ノ名始出大小有二種此說 司馬相如上林賦

ニテハシカト日本ノ柚ニアラス始尚司馬相如上林賦

集 臭橙 カラス 蟹柚 ハチユ

大柚 ビカタラ一名咬嚼柑 壺柚 何テモシリフクロニツクモノ云ナリ

枸櫞 フジユカン 圓者曰枸櫞扁者曰佛手柑 唐亦稱佛手柑

集 瘡 音別枯也疾也

金橘 キキカン 長者曰金束圓者曰金豆

欶 盧橘 金橘ニアラズ是ハヨレテテ。多クコウジノイヲ云ニ体詩ノ注ニ盧橘者夏熟即枇杷也

枇杷 ヒロ一名盧 夏橘 ナツミカン

荔支 クシイ 枇杷菜用ニスルハ葉ノウラノ毛ヲ去ヘシ不去

レハ射肺ト云也須知嫩葉極大者可也

楊梅 ヤンモ 有赤白二種 水楊子 カハヤキ

集 水晶楊梅 上品ナリ 紫瑞香 ダニテウケ

櫻桃 ユスラムメ 沐猴梨 キナシ

垂糸海棠 サクラナリ常ノヤマサクラ

山櫻桃 ユスラムメ 似有毛 阿波方言ニワムメトモ云是ナラヤ 平仲果

銀杏 キンチン イテウノ実ナリ一名一子

胡桃 朝鮮クルミ 菜用是為上品和胡桃山核桃ト名

ク俗呼鬼胡桃功用大抵相同時珍比喻腎藏者

ヒメクルミヲサスナラン

平陰當  
作陰平

集

核桃ヲニクル出平陰者是也

出陳倉者鎌薄皮多肌ヒメク是也

ト云モノ  
是ナリ

榉ツバヤナキ

榛子ハシバミ

橡子トシクリ

櫟クヌギ

古來橡櫟ト云テ一物トナス非也

二種也櫟ノ皮ヲ黒燒ニ製シタルヲ土骨皮ト云俗名也

阿月渾子

フスタスモ呼  
フスタシウモ呼菜肆ニコレアリ未詳

楮子カシ

有二種赤白赤ハツヨク白ハヨハシ

集

甘楮子

イナイ南都春日社前ニアリ小兒炒食

血楮

アカシ

苦楮

苦ク渋キモノ

鐵楮

シイ平

菩提子

即無患子

鈎栗

シイ

椎ヲ番語ニシイトヨブユニ充未詳

橡実トシクリ

是ハ実ノ名ナリ木ノ名ヲ婆羅樹ト云

秘物ナリ橡トシクリハ誤也但子ノ名ナリ

但馬ノ俗本ラジサイト云  
云実ヲジサイト云

集

橡斗

ドンクリノヘタナリ  
今云ユキ是ナリ

榲桲

クヌギホウソト云ハ非也ホウソハ榲ナリ

釈

撲楸

一本堂治瘀血撲楸  
宿滯必用此物

果之部三

夷果類三十一種

荔枝

レイシ

和無行厨集曰荔枝曰甘液又曰緇枝荔

枝正体荔枝

橄欖

竜眼 今云リウカニク大小有二種薩州産小也京善天  
寺又有姫路室津ケニシヤウジニアリ又林田ノ宮ニアリ

ト云実未熟シテ落ツ

竜荔 未詳 解臭毒本邦無之漢渡有之

木威子 未詳 菴摩勒 未詳

毗梨勒 未詳 訶梨勒 訶子一名

没離勤 未詳 五斂子 同上

五子実 同上

漚実 カヤ 詩經ノ柏舟ハヤクコノテカシハナリ

萩 被子 ベハカヤニ光非ナリ 集 粗榧 稻云ヤガヤ

海松子 テウセニ 京師等持院庭中有此物五葉マツ又唐松

萩 新羅松子 大小有二種大者朝鮮松小者五葉之松也

集 五粒松 カラマツ 一名五鍼松 或云五鬚鼠松

タマツト云アリ大津道ニ寺アリ此庭ニ千本松ト云テ

朝鮮人為詩賦一根而數條アリ漢名出府志

麻腐 食物本中曰以芝麻搗爛去滓入綠豆真粉者熟入

檳榔 鷄心檳榔为上品有漢渡無和産長者曰檳榔

子扁者曰大腹子須知曰漢渡一種無人嶋有之大腹子

上種ニシテ少有別無雜偽者也

集 扶留藤 即葛 瓦屋子 アハヒト一名カ

大腹子 此即檳榔之扁者 本邦無之漢渡有之

集 寒瓜 カモウリルイ

椰子 ヤシ 解酒毒物別一種海ヤシト云モノアリ

附録 青田核 未詳 樹頭酒 伊豫國平家駿子

嚴樹酒 未詳

無漏子 ソテツノミ 一名千歲麥 又名金束

秋 鳳尾蕉 ソテツ 藜鐵 俗名也別番蕉トモ云有和名ヲシマ

桄榔子 在無人嶋檳榔子ノ一種而有光如竹サケテ

内ヨリウトノ如キ物也是也

紗木麩 左薩州紗木ノ名也麩ヲツケルヲトリ木中

ヨリ出ルウトノ如キ物ヲ云

集 都勾樹 シユロトスルハ誤也紗木ノ俗言ナリ此物先年豊後小倉農夫絶之

波羅蜜 未詳 釈 驪 一曳 戰慄震動貞

無花果 イチジク 藝州一種ノ白イチジクアリ終始全ク青

シテ不赤故白イチジクト云小者為映日果無花果ハ其

大ナルモノ也

集 花構葉 カダノハ 今セタノ歌ヲカクモノ也カミミスクハ構葉ナリ

附 文光果 未詳 天仙子 古度子 名同上

阿勃勒 トウカキ サイカチノ一種ナリ

附録 羅望子 此即江村氏所賦物也本宮津ヨリ来ル形圓扁赤肌如刀豆子ツケトシテアリ疑

駿疑  
櫻字  
之誤

此物乎

沙棠果 未詳

探子 未詳

麋目 同上

集 白英 ホロシ

都桶子 未詳

都念子 同上

都咸子 未詳

附 摩厨子下 舟墩果 未詳

楊桃 一作陽桃五  
斂子一名

摩厨子 未詳

韶子 有三種一種稱山韶子又一種

稱勝子又一種曰韶子凡三種藤子即アケヒト云モノ也

通草 非之其餘未詳

馬檳榔 未詳

枳椇 セニホナシ

一名癩漢指頭出薜已匿按

集 續添 沒離梨 未詳

黃承 薜已匿按評經引準繩曰爛  
果或曰密屈竟又呼密六曲

果之部四 味果十三種

秦椒 有二種一種冬山椒頌所說者ヒシカウ也

立疑  
掌字

集 樛樹子 カラスサニヤウ 竹葉椒 立蕃林誤也可考

蜀椒 アサクラサニヤウ 朝倉者但州地名自此獻山椒

土椒 イヌサニヤウ

崖椒 イヌサニヤウ 楮椒 同上

个蔓樹 イヌサニヤウ  
蔓生ナリ 地椒 ヒニヤウ 即蔓生ノ小丸  
モリ



胡椒 有二種一種ハ草也一種ハ莢花家胡椒ノ木ト云

モノナリ漢名白瑞香別名出相州府志等之書可餘

話但馬ノ俗紫瑞香ヲハナコシウト云

畢澄茄 未詳 シ、コレヤウ乎熱國生此物本邦無之

附 山胡椒 未詳

吳茱萸 京師梅宮ノ邊御茶園有之

食茱萸 カラスノ 即樛樹子也

鹽麩子 ヌルテ 今云木フニ也本邦俗將軍木ト呼

附錄 咸平樹 未詳 酸角 同上

鹹草 貝原八丈州ト云モノ也

回春癩病  
門曰五倍子  
即五倍子

醋林子 未詳 江州ツハヒ坂ノ産クルバミツビキ恐此物

茗 センジヤ 茶 ヒナヤ 和名メサシクサ

郭璞尔雅注云早采為茶晚采為茗故茗葉大而

有苦味因名苦茗

集 蠟茶 即團茶

臯蘆 ヒナヤ 和名ナレ 葉似黃栢而無実味信州飯山及但州

ニモアリ飯山ニモ有之

果之部五 薺 薺ハウリナスビノ惣名

甜瓜 マクワ 有黃白黃青班之三種

金鷲卵 小ナルウルハニキ 白甜瓜 南都ホテウリ

西瓜 スイカ 五十年来專入洛華群芳譜所謂玳瑁西瓜者  
謂西瓜實 集解

葡萄 ブドウ 京師所産者多白葡萄也為下品東武所産

紫葡萄也為上品

集

壓

トリチニスルヲ云

水晶葡萄

白キ物ヲ云

今自西土来子シタ酒即葡萄酒也本邦某店所賣  
之木通者葡萄也藤本草新編有辨集解宗奭引段成  
式言此說非葡萄

蓊萸

ノブドウ イヌブドウ

モミル

附方

竹園菜 竹園菜

草部海金沙名

猕猴桃

ヤマナシ

台嶽双輪堂ノ邊蔓生有之筑前

ニモアリ 京都ニモ野生アリ越後長岡ニヤブナレト云モノアリ  
葉似海棠而硬実又如海棠熟則甘

甘蔗

サトウキビ

サトウキ

莖ヲヒシキテ子リワメタル即サトウ

ナリ薩州ヨリ出スシカレ氏大白少出 薩及ニテ根ヲ黒

沙糖ニス糯米粉ヲコレハ是ニスハシ名モノ也白沙糖ノ製

又別ニセモノアリト也冰糖ハ牛乳ヲ入ルト云

集

荻蔗

和名ヲギテト云是 即甘蔗ノ一種ナリ

山疑産  
字之誤

沙糖

サトウ

百代医宗曰黑沙糖南山志曰其洗先取

蔗汁煮之攪以白灰成黑糖矣仍置之大甕梅漏中候  
出水尽時覆以細滑黄土丸三遍其色改白有三等

脱文  
官糖取之再  
焦煉房鴉卵  
攪之今渣滓上  
浮復覆甕漏  
中覆土如前其  
色如白石其  
白糖也其所出  
之水名潔水矣

上白名清糖、中白名官糖、下白名奮尾奮其所出之水

名糖水矣。又取烹鍊成糖霜密片矣。甕漏器如

愠愠盛盛底穿一眼出水其所也。

乳糖 コウリサトウ

糖霜 シロサトウ 漆靡尾尾

紫糖 クロサトウ

集 毬糖 コシイトウルイ捻糖アリイ

石蜜 コウリサトウ 烟艸ノ毒ヲ解也又蓬蜜モ石蜜ノ

名アリ随方可考也

刺蜜 是即雀錫也

附録

翻齋一本作箱 未詳

果之部六 水果類六種

蓮藕 ハス 蓮茎有岐者名並頭蓮三極者曰串品字

蓮芙蓉花也今葉ヲ荷葉ト云因陸機說則莖也時珍

モ是說ニ見ル石蓮有二種此所謂石蓮肉者以狀如石為名

別名別行有木實石蓮何培元本州必談類纂載之可

参考、

金蓮 京師、近田舎ニ鳥羽ノ行田ト云外有此地ニ有黄色蓮華是即金蓮ナリ

藕 其實蓮 当作房 其本莖 白藕 根音吞花射也

集 粉紅色 サクライロ 藕垢 拙与蠟通ロウソクノナカレ

蓮肉 ハスノ実也一名石蓮肉至熟極テ硬キヲ云也非別

物近來一種從漢渡有石蓮肉非真石蓮樹實也出

自蠻夷中何培元本州必談治痢病禁口者石菖蒲

石蓮肉非此石蓮實則無功也其他清心蓮子飲等誤  
不可用明繆仲醇本艸經疏辨非真實本草石蓮  
別三種云云先蓮堅實者云樹生石蓮云云破  
開內無心味苦辣非常用之者也

紅白蓮花 群芳譜出一種之卧蓮一名蔓蓮本邦有  
之淀心齊屋鋪有之狀似而蔓也

菱實 ヒシ

芡實 ミツブキ ヲニハス 芡菜如鷄頭實大上云六雞冠子ニアラス

此實也即雞頭實也俗曰鬼蓮一似荷葉莖及葉背  
紫而有刺所在生水中雞頭花不可誤混

萩 萩 即苦荬

烏芋 クロクハイ

慈姑 クワイ 云々ハ 慈姑ヲモガハ前刀草或燕尾草

等之名アルカ

附錄 果諸 自此以下諸品主治功能詳載時珍食物本

艸可補故以下省略未詳者舉識別者也

候騷子 出揚外菴 丹鉛錄

常盤アケヒ

蔭子 ムネ一名イケシ和俗曰布子 近江ノヲハナト云々 常盤アケヒ

人面子 可考

木之部一 香木類三十五種

栢 カハ コノテカニハ 松岡曰當有側栢也稻氏和名センジニト云



ハ非也掌千常栢ト云モノニセシユテ充テ可也本艸微要曰  
栢有數種唯根上發枝ノ莖蒙茸茂密名千頭栢  
又名佛手栢云々此ニ因テセシユト云カ凡栢属有十一  
種須知云云テカハノ内ナシニシユト云ヨ上品ト云李仲  
梓医宗必讀及本艸微要見エタリ葉下ヨリアツマリ  
生ス此千指栢ト云又名佛手栢若無之則常側栢可用  
功用相似

集 叢栢葉 セシユ

千掌栢 同上

扁栢 金ウヒノキ  
檜ハヒノキニ非スイフキ

檜栢 杉ビヤクシニ

圓栢 ビヤクシニ

卧栢 イヒマクシニ

松檜 イフキ  
ヒヤクシニ

栢 ビヤクシニ

竹栢 可考

樅 モミ

松マツ 凡称松者有五十種海松子條与此條可参考

集 松栢 マツフグリ マツカサ 形骸ヲ鱗砌ト云ウロコノ下タラ  
カサナルニ似タリ

柴松 小サキヤママツ

一針松 在加嘉又近江  
唐崎松

赤松 メマツ

白松 シモフリ 出城大悲山ニアリ

黒松 オマツ

眠松 枝ノタレタルマツ

松脂 一名琥珀孫  
遊名山記載之

絲松 マツユヅ  
マツ

兩鬚胤 ツ子ノマツ

五鬚胤 五葉ノマツ

七鬚胤 七葉ノマツ

艾納 マツノヒニケアリ艾納  
香別物見芳草部

杉 スギ

萩

檜木

アブラスキ

附録

丹桂木皮

未詳

アブラスキ  
ノルイカ

桂

有數品真ノ桂無本邦自西土來者以東京産為上品

交趾産次之詳見某選

肉桂桂支桂心

不可分別

牡桂 常ノ桂

宮桂 上品

卷桂 松肉桂

草肉桂

長崎之稱

松浦肉桂敷桂

同物  
下品

筒桂

板ニナラヌ又昔キ  
桂ナリ

松字  
下疑  
松浦  
字

桂日本ニアレ氏土地異ニシテ惡シ桂葉三縱文葉サキニ透

徹ス又次之茵桂ハ三縱文不徹而半葉而折藁桂枝

ハ葉ノホソキ所ヲトルヲ又名柶桂本一物也

箇桂

ホトケ  
タラシ

葉ノフナト中トニ白キ筋アリ是ヲ三縱文ト云

本邦俗稱肉桂者是也於本邦為上品然トモ非真肉桂

天竺桂

此即月桂也

月桂

ムギ

本邦某店呼松浦肉桂者木蘭也

林蘭

即木蘭也花鏡等書所載  
者非木蘭乃山危子也

狸豆

藜豆別名

木蘭

モクシキ

紫白者春開花時珍所說四月初始開ト云

是和俗呼テヲヤマレンケト云也

辛夷

シテユヅシ

ムラサキヲシテ云紫辛夷京師因幅某師

寺中有之花名木華

沉香

以沈水香为上然某用以中下者为良沈水香者

其功澁沈香於本邦希薩加ヨリ琉球へ渡ル道ニ寫  
ト云ルアリ此沈香アルヨレ傳聞ニ和州法隆寺ノ什物ニ  
名木アリ古來ヨリ沈水香ト云真物ナルヘシサテ佛ニ  
作ル物ハ水盤香ト云テ伽羅ト沈香トノ間ノモノ也

木 奇南香 キヤラ

本邦俗呼梵語也伽羅非漢名見潛確類書

蜜香 即木香也

丁香 テウジ

茶用又ハ香袋ニ入ル物ハ雞舌香ト云テ

小丸方佳也母丁香ハ大ニシテ菓子ナトニワカウ也丁香  
葉味噌漬ナトニシテ三公大人ニ歎ス

檀香 ヒヤクタン

有白赤紫三種

降真香

有三種上曰紫藤香中曰鳳眼香下曰降真

香本邦茶店曰上品者及下品下品者及上品也呼

含南方艸木狀之中此紫藤ノ事詳有之除雷氣

者茶店為下品降真香也猛烈也

楠 ニツリハシ

俗呼テクスノ木トス誤也クス木ヨリ光ヤリ

樟腦ト云以是可解疑

樟 クスノキ

無烏茶則代用樟可也

杓樟 ノクスノキ

ホウテノ烏茶是也今医誤テ用之非

真烏茶

烏茶 ハウコヒナ

ハウタウコシ

有唐二種茶家ニク、リト云上品ナリ

方書ニ天台烏茶又台烏ト云ヘリ是也其ク、川無者  
杓樟也和ヲリ連珠烏茶上品即茶店ニク、リト称  
スルハ是ナリホウテノ烏茶ハ下品也

附録 餅茶 未詳

榿杏 未詳 天竺香ニ 萩 兜婁婆香 藿香一名 同名異物

必栗杏 未詳 筑前ニノフキト云アリ此近シ

カハ疑  
神年

楓香脂 勢加カト云処アリ楓モミチト訓非ナリ

薰陸香乳香 薰陸者自西土不來以乳香代用佳  
也本邦茶店呼薰陸者非真薰陸乃琥珀也薰陸  
乳香本一物根曰薰陸流滴者曰乳香

没茶 本邦無自西土來一種也

騏驎竭 ナマキテト呼モノ上品自西土此ヲ包ミ來ルモノ是也

本邦花肆所呼ノ馬ニナリ然非絹菊大葉ノ馬蘭也

騏驎竭上品ヲコナマキト云大ナマキ下品ヲコナテト云ア

ヤニヲヤウコト云西師ノウカウモノ也

集 海母血 可考

質汗 ミイラ 呼木乃伊者非是コハ造製スルモノ也密人

木乃伊 モミイラト云フ 是ハ人ノ日ニテ日ニナツタモノ也

安息香 未詳 カタマレルヲ安息香ト云ニルキモノヲ安息

油ト云也



藕合杏 未詳 一物名ニ非ス合セモノト云元也梁書說可也

頌所說類蘇木無杏氣ト云紫藤杏也弘景為獅子

矢者誤也

詹糖杏 未詳 詹ハ刺ト云テギヤウセシノ如クノハセハトコ

マデモノビルモノ也 附録 結殺 未詳

篤耨杏 未詳 集 真蠟國ニヤムロク今沙室ト書誤也

附録 膽八杏 未詳

龍腦杏 クスノキヤニ 一名氷片 樹似杉木者ニセナリ

附録 元茲勒 未詳

樟腦 クスノキノヤニ 本邦ニテモトルナリ

阿魏 有草阿魏之三種阿者梵語也五韃之一也木阿魏

和样疑 和料之 誤

者在天竺草阿魏者以葱類扣样製成者也阿魏與

蘆會 未詳 是亦自天竺來ヤリ類也

胡桐淚 未詳

返魂杏 未詳 附録 兜木杏 未詳

木之部ニ 喬木類五十二種

藜木 キハタ 実ノ名シニ人イト云除勞熱ニ妙也形如胡椒

又似朝鮮五味子又小栢アリ入眼科之用也

集 子藜 東武將軍ノ御著ニナルモノ是也尾州紀州同茅 有之江而石山螢谷ニリ通凡黄藜山道節ニ皮黄

味苦狀似石榴  
樹アリ乃是也

女貞實黑 テラツハキ  
又子ツミノミ

冬實赤 皆在  
本條

檀桓 黃栢ノ根又ハカヲウヨリ出ルニラノ如キモノヲ云

小蘗 コカ子エニシ  
メキハヨロイトウシ加茂ノ境内ニ有之

黃櫨 ハゼノルイ  
延喜式ニ天子ノ御衣ヲ染トアルヲ今ハトク

ト知レヌモノ也

厚朴 本邦所謂ホウノ本ヲ以上品トナス本州原始ノ圖

佳也一説糙葉樹皮ヲ充非也物理小識等之所論者

ムクク皮ヲ指也一本堂茶選云俗間呼和厚朴者福

尾樹是也其樹喬大皮赤而厚形狀大類華產朴皮

味又近但似味帶微酸使人有欲吧意花實与本州

所錄大異也故唐厚朴充藥用

集 四時不凋ト云者無和 附録 浮爛羅勒

未詳 子曰逐折 社仲實又曰逐折方書ニ多出補者用社仲實  
消積者厚朴子ヲ用ニ厚朴和名ホウノキノ皮

厚朴和藁共可通用是大抵有二種綱目所說及三

才圖會ニ所圖者ホウノ木皮也河間府志及物理小

識ニ所載ノ糙葉樹葉可用以磨犀角象牙ト云者加

條木皮也愚按指加條木厚朴ト云ノ説ハ古來不見惟

河間地方ノ所用上耳通用者ト難定本邦自古ホウノ

木ヲ用ニ其皮色氣味ヲ考ニホウノ木皮赤朴紫朴ノ

名ニ應シ且功效多シ如加條皮色理氣味皆不佳黃佳

用

杜仲 マサキ 有蔓生獨生二種武州諸土所充者以溝由民  
非是溝田民者皮間無糸而內有糸金囊秘錄曰  
思仙木者即杜仲也又マサキカウラト云蔓生也

椿 樗 俗チヤニナント呼者是也椿和訓ツハキト云ヨリ誤

テ椿根ヲ用甚誤也ニ物ヲ打ミテ琴樗ハクナト訓ス非  
ナリ大和本草充烏山柁者非是ヲナハ棟ノ和名ナリ  
樗ハキツ子ノナヤラ名也椿ハ香椿ナリ葉芬芳自樗  
ハ葉クサシ甲氏云椿ハ知直也佐渡俗ユウコウヘツユウ

カウカツモリ曲折也佐州海濱冬月必到異鳥其形色  
黑而大俗呼昆粉頓輪此歷代小史所載之海翁是  
也小史海語中有之

漆 ウリシ 凡撰乾漆要賣漆家及髹匠所貯漆桶中  
自然乾者为佳某肆所貨之乾漆者即石炭也俗呼  
テカラスイレト云勿必用故今来自公儀ヲトメナリ也

集 荏油 エゴヤ 荏ニヒクモノナリ桐油トスルハアヤナリナリ  
荏ハ白藜ト云テヨリ叙紫藜モノナリ

梓 アツサ アカメカシ 京都白川俗呼コレハ祭事ニ土器ノ下  
ニ敷故ナリ

集 椅桐 レヤキリ 詩所賦者四物而非一物

楸 ホフテコアラ 一名雷電桐

集 ヒキキサケ 刺楸 即刺桐一名海桐 和名ハリギリ

桐 ギリ 百川学海陳翦賦出三十種白桐黃桐者以花

言也 集 白桐 一名炮桐今扇箱等ノ

青桐 未詳 梧桐ノ初生カ 岡桐 アフラ 江加ノ俗

楸桐 トタギリ

梧桐 大和本州所載ノイワサキ即梧桐也イワサキハ葉

々五岐アレハナリ

鷓鴣子桐 アフラギリ 桐油ト云ハ是也此油人不寐トキハトキ

入ステニ子ルトキハ消ル也

集 紫花桐 別物

海桐 ホウタラ 勢州ニ多シ有三種花鏡所載者山器之

一名也一種海桐花是亦別種也

集 欖樹 蜀菜萸一名 附录 雞桐 未詳

棟 和名ヨハナ 俗名セシタン 有甜苦二種苦棟充菜用和名ヤマトタ子

京師産甜棟ニシテ長女人ノヒ、アカギリニ付ルモノコレ也

本州綱目棟條ニ苦棟金鈴子ヲ一處ニ出無辨詳察

スルニツ子ノセシタンノ実ハ味甘ト只單名ノ棟実ナリ苦棟

ト云ハセシタンノ一種実圓而不長味極苦者アリ今茶

肆ニ大和夕子ト云モノ真也本草混合ノ無別今表明之

槐 エニシ

有皮黑青月二色今キチヤテ胡楸ツホニ者ハ  
白黒マセルモノ也槐有二種細葉圓者为真新用八新一  
也一種有黑槐イヌエニシト云葉大而木皮黑色実又異  
也功用大抵雖同小葉者可入茶用也槐角子ハ槐実也  
小葉者可用槐膠エニシノヤ自漢来者一種也和木ハ  
膠極テ少シ漢渡可用也

集

其実作莢連珠中有黑子

按是槐之最  
下品者也

檀

マニト訓非也カクキト訓佳也葉似槐

莢

アヲキ  
ト云

姫路及叡山ニアリ葉似荻赤実對生スル也串

ガイヲ連子クルモノ是也可考

素皮

ト子リコ

加州越前俗呼テタマノキト云此汁ヲ唐墨

ヲ子凡故唐墨同ニシテ素皮下同功

合歡

子ムノ木  
子ムリ木

申時ヨリ葉ノシホムモノナリ

狗骨楸 ヒイラキ

皂莢

サイカケ  
ノサヤ

凡有四種本邦之産肥皂莢也猪牙為上品

波斯皂莢者波斯國ヨリ来ル一種鬼皂莢アルナリ本邦

産最多山城北山ニ在越後高田ニモアリ波斯者莢圓ニ

シテ長実滋潤也然凡久経ハ氣味薄也宜詳

肥皂莢

本邦之産最多山城北山ニ在越後高田久出

之

集

雲實

シヤクケツ  
イバテ

馬螳 ヤマアリ

無患子 未詳

樂華 珠敷所製ノホタイニナリツブノ木トスルハ非也京洛之東  
山下安井前仙棟コレ也

無食子 本邦無菜肆ニ渡アリ医統引集要曰無食子

没石子 集 榿 柳トスルハ非ナリ日光モミト云  
物是ナリ秘也

訶黎勒 即訶子也

集 天主 バテシノ 八路 八角也 六路 六角

婆羅得 シラキ 実ヲロクトノ菓子ト云佛書呼三聚果是也

実ニツ或ハ三ツ重リ長ス故名 三井寺ノ入口トアリ

集 柳樹子 カハヤチ 草麻子 トウモロコシ

榿 ヤマキ コフヤナキト訓スル非ナリ

榿 榿柳 鬼榿 此ニ名コブヤナキ

集 弘景所説ノヤマキ 榿皮乎

榿 ヤマキ 榿 楊榿 シタレヤナキ 隋煬帝時楊柳ノ称ヲ賜  
此即今ノシタレヤナキナリ

榿柳 日光モミ 幼科 隼繩 痲疹門云榿又名西河榿 錦囊

秘録曰赤聖木

榿 榿 雨師 雨露ヲハ  
必ス依ス 三眠榿 日三度俯三度起

集 榿 河榿 按西河郡ノ榿也今誤テ  
カハヤナキトスルハ非ナリ

水楊 カハヤナキ マルハヤナキ 楊枝 ニ作ル者是ナリ

集 修蓋 ヤ子ヲク下也

榿字 忘誤 未詳

扶移 シテヤクヲ 三月頃京都花屋出之ニテヨキリナケタコトク出

朱子棟ヲ棠棟ニ充非ナリ

松楊 未詳 ムクト訓ス非ナリクハ糞葉樹也一名加條木

榆 シレ凡有四種葉脊青白之ニ色葉莢ノ先へ出或後ヨ

出總ニテ四種也

榭榆 ヤミシレ 京師大佛ノ瓦焼ノ辺ニ多

蕪夷 ヤミシレ 能殺虫故ニ肥兒丸中ニ入ル漢度一種本邦

未見ニシテ一種ニテ極テ臭シ

蘗方木 スチウ 本邦花肆所謂スチウ花ハ此別而紫

荊ト云モノナリ蘗方木ハ掛物ノ軸又ハ染衣者也蠻國

家甘  
ニ  
カ

ヨリ来ル蘗方木漢渡ニシテ和無之和ニスチウノ木ト云ハ紫

荊花也即古人所謂田家荊ナリ染家用及医薬ニ入モ

ノニ非ス獨外科家採用其家甘和ノスチウ花ハ花色各

似百日紅与漢土之蘗方木絶不同也

烏木 エウタン 一名烏文木

樺木 カハク 木 白ハ赤クニハノニ種アリ羊弓ニ造ル者也雨中

タイマツト云以此木作燭トキハ水中ニテモヨク燃ルナリ松岡云

烏木与樺木之間當脱鐵刀木一條

紱木 カシヲシニヤ 未詳

欄木 クハリシ

梭櫚 シロ

集結実作房如魚子

東坡詩集ニ梭魚ノ詩アリ常ニ煮食クナリ

梭笋

行厨集曰梭笋日本魚東坡詩賜君木魚三百尾

枕榔

琉球ノ産可考

椰子 ヤシヲ

虎散

和ノコサン竹ニ充非ナリ是自西土来ルモノナリ

蒲葵

ヒロウ、薩州ニテ盆ニ造ルモノナリ

檉木 未詳

柯樹 ニイノ木未詳

烏臼木

筑前福岡尤多シ葉似杏赤キ実アリ或曰

葉似細辛フサヲナストナリ

巴豆

本邦ニ無蠻物ナリ寿世保元一名江子須知云

漢ヨリ来ルモノ真ナリ

大風子

今茶肆雷丸油ト云モノ此油也雷丸不乾シテ

油ナシ

海紅子 トウアカキ

相思子

トウアカキ 凡相思ノ名スカイ或ハ烟艸ナリ

猪腰子

猪ノ鞆丸ニ似タリ丸右ニウアリ辛キモノ也

根付ナトニスルナリ腰子ハ外腎ノ隠語ナリ

石瓜

一名石松カ

蠻物也本邦無

木之部三

灌木 五十種

桑 クワ

和名也白桑 雜葉有二種白桑ハ真桑也葉圓也

雞菜ハ葉有岐功用同シ桑ノ種類及種採ノ法農桑

輯要及農政全書ニ詳桑白皮ハ根白皮也地上ニアラ



ハルモノヲ可忌也

集 女桑 ヒメクワ

麩桑 カラクワ

山桑 ヤマクワ

桑耳 クワタケ

桑黄 クワサルノ  
ニシカケ

桑花 クワノヒナ

桑螵蛸 クワノキリノス  
カキリノス

柘 ヤマクワ

奴柘 イヌクワ

楮 カキカウソ 凡續此皮以搗為紙也今七夕女子歌ヲ

書ハ楮葉ナリ

柘 キニク 本邦茶肆呼柘殼者時珍所謂臭橋也

古不分柘殼柘實宋開宝本草始出柘殼之一條青

為柘實熟紅者為柘殼一本堂呼華柘殼者以為柘實充

用按薩州所產之稱柘殼者皮厚而大味苦辛不異於

華產漢渡一種小柘實ト云アリ是又臭橋之青者也本

草原始有圖可考然非真物 柘殼 カラクワ 訓スル

非也俗誤來カラクワト云和ハ偽也漢產可用也柘實柘

殼雜テ渡之其中ニ就テ可擇分七十日ニ採收テ色青者

柘實也九十日ニ收テ色紅者柘殼也

枸橘 カラクワ 一名臭橘則和柘殼是也

梔子 クイナシ 七稜之物為上品山ニ生ル者佳也故呼山梔子

六稜八稜ノ者有花子辨者名玉玲瓏 須知云野

生形小者佳也家園生而形大者染色ノ用ニ供スル此外

四季ノ色子アリ及和山色子不入菜用附木戟未詳

酸枣 東ニ似テ酸キ故酸ノ名アリ菜用ニ仁ヲ用

白棘 山古メノ一種也杜子美天棘青絲ト作ル天門

冬也 萩 折莫ヲトマツナリ

蕤核 自西土来者乃上品本邦又右此物

山茱萸 本邦無クミト訓ス非ナリ

胡頹子 アキクミナハレロクミ 集 木半夏 ナツクハ

金櫻子 ナニハイハラナツハバキ 集 常実 野ハカクノ実

郁李 ニハムメ 集 御李 未詳

鼠李 有二種一種ハメキ也ヒシヤサキニ似タルモノ也

女貞 テラツハキ子スミモナ 本草必訣所説ノ女貞ハ与此別可考

冬青 クロカ子モナ江戸モノ 今云モナハ雲椿ナリ

衛矛 ニヒキ マニト訓ス非ナリニヒキハ刺アツテ箭ノ羽ノ

如両方ニヒラノト葉付ナリ

狗骨 ヒ、ラキ 甲氏云大ヒ、ラキ冬青ノ属乎鳥モナ以

此製ス

山礬 ヒシヤサキ 在本邦筑前山中最多損軒以瑞香充

之者非是

集 芸香 此別物也今本邦俗以银杏葉入於書中

淳美按  
銀杏葉  
樹ヲル  
キ虫食  
テナシ  
故衣魚  
ヲ避ト云  
テ書中  
入ルナ  
ラニ

謂避紙魚此甚誤也銀杏無避衣魚之功疑此以芸香之似  
銀杏誤乎芸香則有避虫之功是以甲俗誤 須知和名  
抄芸香ヲサカウリト呼損軒芸香ヲルウタト云非也時  
珍引說文曰似苜宿此へルウタ乎

侵木 民志約志約劍  
之白花者乎

南燭 ナニテシ 一種藝花家呼狗骨南燭者非南燭之屬

鈎吻ノ一種也有白南燭実ハ白色ナリ

五加 ウコキ 鬼ウコキ刺有粗而不堪食用ヒメウコキハ刺

ナシ充入茶用是ナリ

集大片類秦皮 ヲニウコキ是ナリ

ヒラキニ  
テニス朝  
鮮ナニテ  
トモユ葉  
ヒラキ如ク  
長サ三尺  
実葡萄  
ノ如シ

枸杞 地骨皮 クコ 葉丸ク実丸キモ真物ナリ葉細而長

実又長キ者ヲラニタクニ也某肆所賣者多実尖長此

則枸杞也地骨皮和産即枸杞根也 須知云和有二

種無刺者真也有刺者阿蘭陀クニト云又天草クニト云ハ

性劣ナリ

萩 杓棘 ヨウラク 熬 トウケシ

濃疏 ヨラニタクク  
イヌクク

楊櫨 未詳

ウツキト訓ス非ナリ

石南 有石南樹石南藤石南卷之三品也石南樹石南

藤未詳石南卷即今云セキナニケノ畧語也キナケ

萩 風菜

石南卷ノ和名乎  
楠木ノ萩名干未詳

集 燕覆子

アケヒ

楊桐草 ナニテン

蔓荊

ハニツハキ  
ハマホウキ

ハマカワラ 海濱沙地多有之取皮为香勝子

葍草今人家以为香世俗为線香下品之方葍草蔓

荊子皮木蘭三味ヲ以テスルアリ

欒荊 未詳

石荊 吐荊ノ小者

紫荊 スチウハナ

三月サクラノ時花開百日紅ノ如ク紫ナリ

葉大ニシテ丸シ田家荊コレナリ

萩 内消

外科用之日紅内消  
治腫物故

木槿 モクケ  
ムクケ

万葉集等ニ所詠者是ムクケヲアサカホト詠

ス源氏物語ニ牽牛花ヲアサカホト読リ木杓摘要ニ密也

朱槿 フソウケ

金木槿

黄色ノ白槿花草辨白色  
者克菜用

籬槿 籬辨紫花者尤  
多籬也下品也

扶桑

薩州俗呼仙桑花或曰琉球ムクケ

木芙蓉 フヤウ

只芙蓉ト称スル者ハ蓮花也木芙蓉ハ木

也花艶麗可甚愛也

萩 拒霜

冬時ト一氏霜ヲ拒  
テウケツケヌ故ニ名

集 漆色

色ノウツルヲ云  
非名ト云

山茶 ツハキ

俗椿ヲツハキト云椿ハ香椿也花鏡尤詳

集 一捻紅

アメカシタ

石榴茶 イセツハキ

宮粉茶 シラウシシツキ

宝珠茶 心ノツバキ

海榴茶 未詳

滇茶 一名蜀茶カラツバキ  
葉似木犀サラクトスル也

蠟梅 ナモキムメ  
トウケメ

苜蓿邦ニ不聞者之後水尾院御宇向

朝鮮来一名杓繩梅花ノ形大ニツクハイニ似タル故ニ

不雅ヲキライ丸英梅トモ書カハリ

伏牛花 ネトリトミラス ムメモトギ 似テ花黄ナリ木高サ三尺

ニ過ス赤実アリ刺ノアルモノ也

萩 此即虎刺  
一名

蜜蒙花 稻氏ム今ノ山ウツキト云花ウジヤクトサク

密ニ花紙ト云モノアリ今ノ鳥ノ子又ハウスヤウナトハ

コレヲ以テスクリラシ 大タカ小タカノ類ハ檀紙ニテマニミラ

以テスク也宿紙ト云ハ天子ヨリ出テ法橋法印ニ叙セラ

ルト云時ニ宣命ノ書出ル紙也

木綿 ハキワタ 羅摩ヲ和ノハニヤト呼日本俗所呼ノモノニ

即草綿也詩ニモ木綿花開鷓鴣飛ト云

秋 古具 毛セテニシテ木綿ノ一ニ非ス宝~~カ~~シナト云

織多毛セシノ一ト云也

古終 似草者名古終是即今ノキワタナリ  
江戸ニテホウレイワタト云ナリ

柞木 ツケ 葉ヒラクトシタレテ黄色ナル者木柔也ヨカリ

ツケイヌツケ木剛者ヨメガサラト云今立花ナシナルハ

イヌツケ也若芽ク上ヲ取テツカフ黄楊腦ト云ナリ

黄楊木 ヲハリツケ

不凋木 未詳

賣子木 ノヤノ木ニ丸ハ非ナリ須知和名抄ニマニヒク木

ト云時珍ハ不知ト云

木天蓼 マタヒ 六月ニ葉ヲムシリテ水ニケケテハ梅老ノ

如キ花サクモ也故ニ夏梅ト云

放杖木 未詳

梅骨木 ニハトコ 俗名タズ和名ソクヌ草クズノ也京都ニ

テハクニノ木ト云賀州同シ

靈寿木 出詩天雅丹波方言ヘキノ木ト云老人ノ杖

ニレテ命ヲノハスト云賀ノ時ナト送ル令キ木也

棗木 タラ タコトリトマラスト云初生ラウトモキト云

木麻 未詳 一木ハリノ木

大空 在台嶽弁慶水ノ也葉似桐

木之部四 寓木類十三種

茯苓 マホト 和産雄松ニ生ス赤白共ニ松根ヨリ掘得ヲ

上トス二種ワラヒ茯苓アリ是蕨ノ根ニ化スモ也須知

云一種ノ蕨茯苓ハ蕨ノ根化スルニ非ス往昔ワノ処ニ松樹

アリ其根ノキリカブヨリ所生也世ニワラヒ茯苓ヲ劣リト

云六非ナリ是又可通用

琥珀 和産佳也即茶店所称ノ薰陸是ナリ

集 琥珀 キニクテ

鑿 琥珀ノ黒者也黒水晶ト云

猪苓 此即ホコリタケノ類ナレハニ竹林中ニ生ノ和産者其形尖長而似異産圓者

雷丸 大風子及雷子桐ノ実称雷丸者非也

桑寄生 名ヤトリ木 黄色而微于心中者为佳隱岐ノ産

上高真者希也寄生多雜木可擇木ツゲニ似テ葉ツ、ダニ似リ厚シテ有毛折之色黄者真也世医又采茸ヲ

以テ代用桑生癭木也中風癱瘓ヲ治スル有功

集 如麻黄ニ一 筑前ニテ松蘭ト云者疑ハレカ

松蘿 マツノヤトリ木

楓柳 楓ノヤトリ木 楓ハ勢州ノ猪鼻ニアリ

桃寄生 モノヤトリ木 柳寄生 マナキノヤトリ木

占斯 クスノキノヤトリ木

木之部五 苞木 莖四種

竹 集 篁 カニクテ 淡竹 ハナリ

苦竹 マタケ 一説生筍而苦又入 食用者皆苦竹 篁 ケハタケ

籜 ケケノカワ 実心竹 タネナリ

方竹 ケケルタケ

無節竹 京永親堂二重坊曼陀羅

天親竹 トヨウタケ 又曰投竹

筭竹 コサナリ

鳳尾竹 トヨウタケ

梭竹 ヒロナリ

黄金間望竹 キンナリ又曰對青竹 出汝南國史

孟宗竹 カネナリ

瀟湘竹 フネナリ又曰瀟妃竹

千里竹 チリナリ

竹類種甚多而不可逐一録之汝南國史典藉便覽等可考

天竹黄 タケニリ

即天竺黄也湿熱ノ氣ヨリ内ニ出来

ルモノ也竹ノ外ニアルモノヲ竹蓐ト云

越前烏屋野ニサカサマタケト云アリ枝指テ下

仙人杖 タケノ

江州産根セテイクナト云

鬼菌 タケノキリ

木之部六 雜木淺七種

淮木 古城ノ跡ニアル古柱ノ木ナリ

城東腐木 土中ノ古ク木一名地主

東家雞棲木 如字

厠箒 田舎ニ希ナリ。糞ヲスクウニヘラヲコシラヘユソケト

アリ其木乃是ナリ

古欖板 古冢ノ棺木也



震燒木 雷ノ落テ燒タル木ナリ

河邊木 如字

附録諸木二十九種 自此以下不詳者畧之不舉

服器之部一

錦 ニキ 綸 キ又

帛 カトリ 白キウスキ又和ノ加賀綸羽二重ノ類

紬 カトリ 繒 カトリ 双絲 モロヲリ

布 又ノ 綿 ワタ

禪褌 ナキ又 褌 タフサキ フニトシ去非也行厨集曰袴曰服衣又曰禪

褌

汗衫 ナヒ 行厨集曰汗巾曰汗櫛又 無袖者曰褌

褌又曰袒腹

孝子衫 三年喪中ニキタル衣ナリ今墓ニ孝子墓ト書ル

ハブリジヤト云テ也

病人衣 如字 衣帶 如字

頭巾 如字

幞頭 武官ノ冠両方長リ釵ノ如キ耳出タルモノ漢張

良ノ圖ニ己アリニ才圖會ニ見

皮巾子 カワウキン

皮腰袋 キニチヤク 行厨集曰鈔袋曰金錯荷包

曰荷囊

繳脚布 キマハニ

敗天公 ヤコレカサ

紬 襜褕子

頰ニ笠ヲキナカラ大睹ノ時ト云モ人家ハル故ニ氣ノツカヌ礼ナキモノヲ云ナリ

故蓑衣 フルミナ

罍 屨 薦 ワフムシロ

皮鞋 鞞

行厨集曰鞞曰朝鞞又曰終鞞为其連脛

故曰終鞞作鞞俗也

麻鞋 アサワラビ

木底 今ノソウリゲタ

草鞋 ワラウ

屨 屨鼻繩 如字

自經死繩 如字

灵床下鞋 死人枕席 如字

服器之部 器物類五十四種

紙 カミ 後漢蔡綸始製紙

草紙 ハムシ

藤紙 トウシ 唐紙トカハ非ナリ

閃刀紙 エヒスカミ

閩人以謂竹者今ノナクシ

青紙 アヲカミ

印紙 カラカミ

還魂紙 スキカミ シノカミ 桐油 繳紙 アフラキリノ油ヲ以製シタルカラカサノカミナリ

曆日 コヨミ 鐘馗 木杪有三説可考

桃符 恭惜字 正月ノ札也桃ノ木ヲ板ニスルカミヲ云也

桃榭 カミクス モノクイ 地 ツリニ桃榭ヲスミクニウナコムコアリ

救月杖 月食ニ用ル杖也開元遺事長安城中每月

食去取鑑向月擊曰救月

撓火杖 大<sup>カ</sup>火<sup>ノ</sup>カキサカス岐<sup>ウ</sup>ナリ

吹火筒 <sup>ヒラキ</sup>

吹

小兒<sup>ノ</sup>蚯蚓<sup>ニ</sup>小使<sup>シ</sup>カケテ陰茎腫<sup>ル</sup>

鑿柄木 <sup>ノミノエ</sup>

鍊椎柄 <sup>カナツチノエ</sup>

鈇楔 <sup>クサヒ</sup>

刀鞘 <sup>カタナノサヤ</sup>

馬鞭 <sup>ムナ</sup>

箭筈及鏃 <sup>ヤカラ</sup>

弓弩<sup>ノ</sup>弦 <sup>ユミツル</sup>

紡車<sup>ノ</sup>絃 <sup>クルマノツル</sup>

梭頭 <sup>ヒ</sup>

連枷<sup>ノ</sup>關 <sup>カラサヲ</sup>

椶櫚<sup>ノ</sup>尖 <sup>ツクノ</sup>

伊勢<sup>ノ</sup>物<sup>ノ</sup>語<sup>ニ</sup>クヒヨクコト<sup>ノ</sup>タリ<sup>江</sup>戸<sup>ノ</sup>方<sup>言</sup>

テニヒホウトキ

梳篦 <sup>クシ</sup>

針線袋 <sup>ハリイト袋</sup>

蒲扇 三才口會曰摺疊扇一名撒扇蓋收則摺疊

簾

用則撒開或字作翠者非是翠則團扇也可以遮而故  
又謂之使面行厨集曰扇曰輕簾又曰使面強<sup>張</sup>故傳自  
以便拊焉蓋人以扇障面則得其便故名又曰條融周  
昭王叔鶴翅為扇一名條融一名及景簾又作翠凡  
扇素曰素簾金面曰金簾疑識者曰疑扇檀骨才  
骨者曰檀扇牙扇紗者曰紈扇蕉扇蒲扇各從來  
名又曰掌扇曰天簾又曰蔽塵

蒲席 カマムシロ

簞 タケムシロ

和蒲席 テ包ムヲ古ヒヨウケノ車ト云

簾箔 スタレ

研朱石 鎚 ニウホウ  
朱スリホウ

燈盞 油 アフラツキ油

車脂 車ノヨロミノグテ

筋 萩 百味 柵 マチイタ

筋 バシ

鍋蓋 ナハフタ

蒸籠 セイロウ

蘆蓆 魚ヲ入ル竹サテアリ  
出ルモノナリ

漆器 フルゴキ

燈盞 アブラツキ

敗船 古舟ノヌク

故木 砧 フルマチイタ

杓 ヒシヤク

甑 コシキ 丸木竹ニテ作ル

飯籠 イカキ

炊單布 ニキヌ

故炊帚 フルキカマホウキ

簸箕 古

魚笥 ヤナヌ或ハウケ尺云

草麻繩索 ナワ

縛猪繩 フタノツナ  
キナワ

廁籌 カワヤノテ

尿管 セウキタ

中名曰廁籌 甲氏曰當補入古茶袋療眼瘡

熨帚 ヤフレホウキ

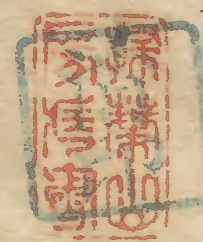
竹籃 タケカゴ

臭綱 アミ 倉卒之間遇骨硬  
則酒魚綱許ヲ用

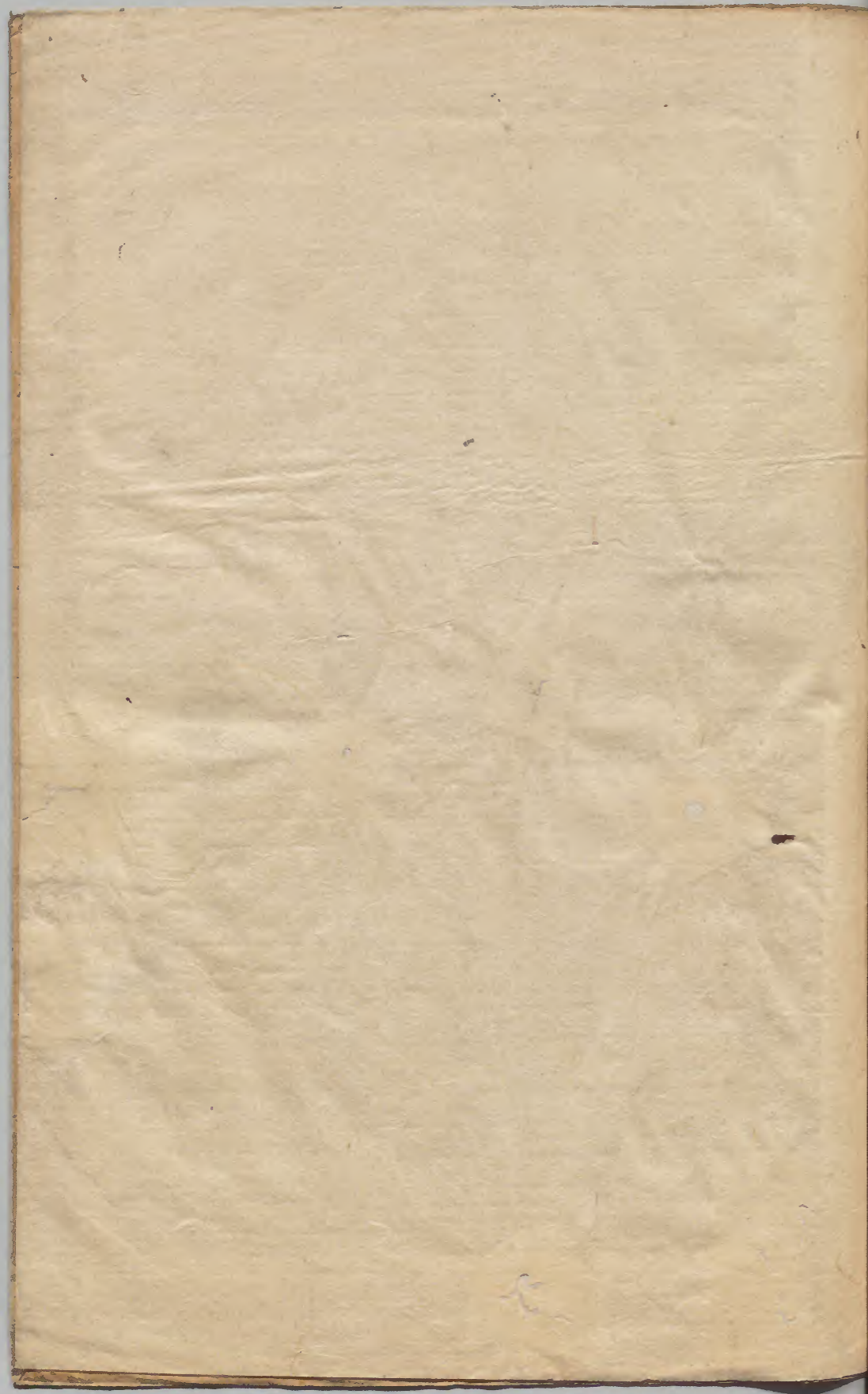
馬絆繩 ミノツナ

牛鼻拳 牛ノハナヲ  
トウス木 和牛拳ハ  
子ツク木ヲ作

輟耕録曰今寺觀削木ヲ籌置置圓潤



廁籌  
出前



Handwritten text in vertical columns, likely in Japanese or Chinese characters. The text is faint and difficult to read. A red seal is visible in the lower right corner of the page.

